

保護者の皆様

## 平成26年度 学校評価【後期】について

京都市立淳風小学校

学校評価へのご協力をいただき、ありがとうございます。保護者の皆様からは93通（回答率79.5%）の回答をいただきました。これは、平成26年度の学校評価【前期】（回答率89.7%）に比べ、約10%回答率が低くなりました。前期に比べ、回収率が下がったことにより、より多くの保護者の皆さんの声（評価）を聞かせていただくことができず、残念です。

今回の学校評価につきましては、保護者・教職員の各評価項目におきまして、前期と後期の比較を行いました。

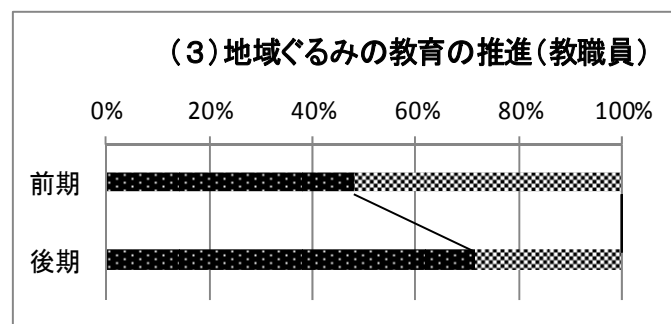
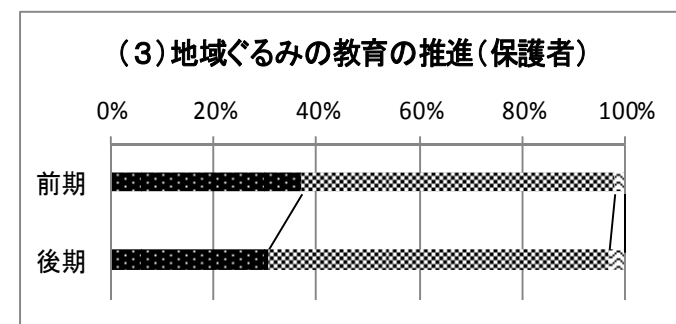
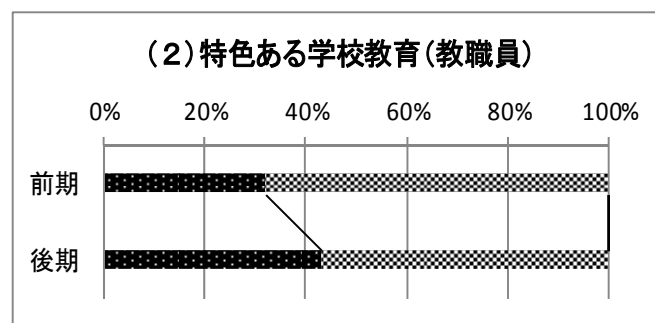
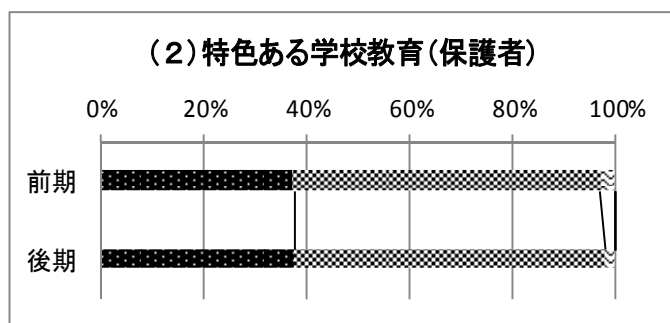
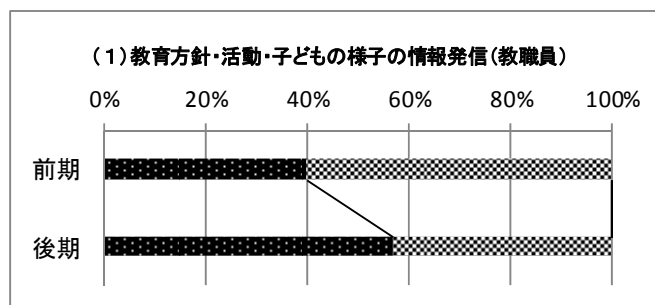
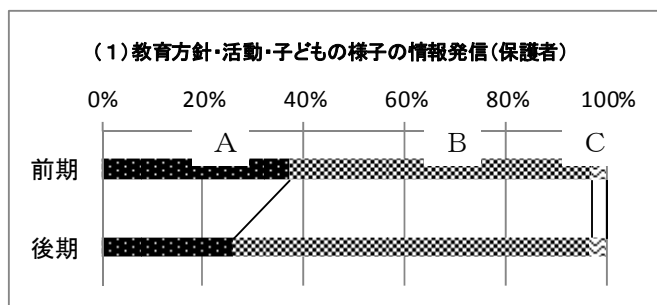
学校運営協議会におきましても、評価結果や自由記述の分析・考察をしていただき、学校改善に向けての具体案の検討を行いましたことも含めまして、お知らせいたします。

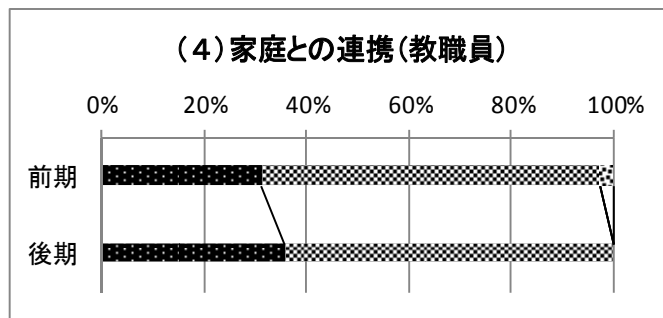
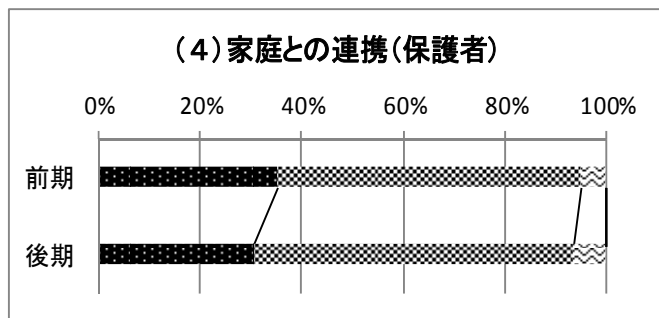
## ＜集計結果の見方について＞

保護者評価と教職員評価を比較するため、評価項目を同じにしました。各評価項目について評価していただき、グラフ右からA（そう思う）、B（どちらかといえばそう思う）をプラス評価、C（どちらかといえばそう思わない）、D（そう思わない）をマイナス評価と評価することとし、保護者と教職員について前期と後期を比較したグラフで表しています。

自由記述については、同じような内容についてはまとめさせていただいたり、要約させていただいたりして示させていただきました。

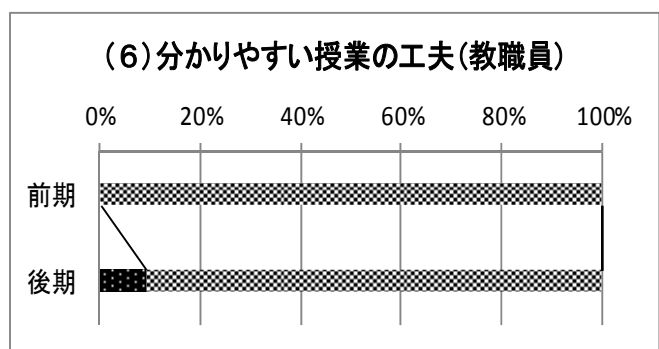
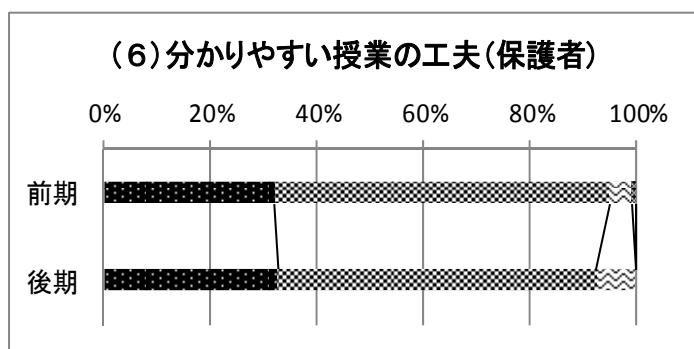
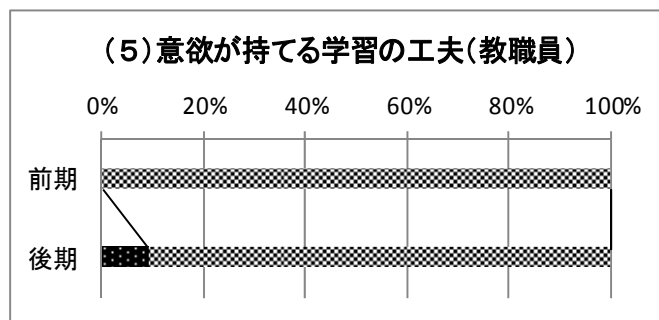
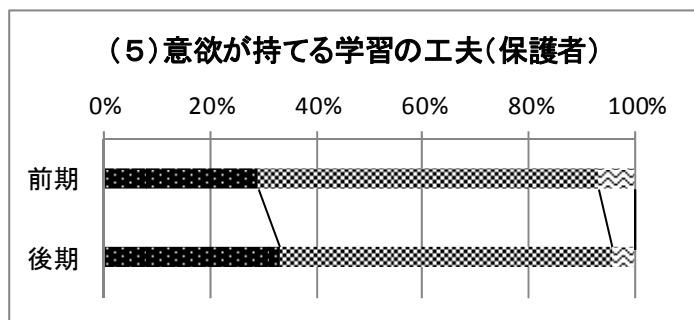
## ◇ 学校・家庭・地域の連携





- ・ 保護者では、『学校・家庭・地域の連携』の4項目共に約95%のプラス評価でしたが、(1)「情報発信」(3)「地域ぐるみの教育の推進」(4)「家庭との連携」の項目において、A(そう思う)が約5～10%減少しています。もっと多くの情報発信や家庭との連携を望まれていると考えられます。
- ・ 教職員評価では(1)から(4)の全ての項目において、プラス評価が100%であり、A評価は約10～20%増加しました。学校・学級の取組や子どもの様子を積極的に発信したり、地域教育など特色ある教育活動を進めたりしています。さらに家庭との連携を図り、取組の理解や子どもの姿を伝えるようにしていきます。
- ・ 情報発信においては、保護者と教職員とは意識の違いがあると考えられます。今後、学校として内容や方法など何か課題なのかななどを、保護者と意見交換しながら改善していきたいと思います。
- ・ ホームページのアクセス数が増えていることから、情報発信のツールとしてホームページが有効であると言えます。
- ・ 緊急時の対応としてメール配信が今年度は実施できませんでしたので、次年度にはPTAと連携し実現していきたいと思います。

## ◇ 確かな学力



- ・ (5)「意欲が持てる学習の工夫」(6)「分かりやすい授業の工夫」は、保護者評価では約90%のプラス評価、教職員評価では2項目とも100%のプラス評価でした。
- ・ 学習では、伝統産業体験、職場体験、食育、和菓子体験、銅版レリーフ体験、茶香服体験、車いす体験、昔遊び体験などゲストティーチャーを招いて専門的な話を聞いたり、職業体験や地域探検など地域学習を進めたり、体験的な活動を取り入れたりしながら、子どもの興味・関心を高める授業の工夫を行っています。
- ・ 朝のモジュール学習では、音声言語に焦点を当てた取組や基礎基本の学力の確かな定着、表現力やコミュニケーション力の育成に重点を置いた取組を進めてきました。学習や集会、凧風タイムの子ども様子から「聞く力」が育っていると感じます。「話す力」についても、声の大きさや、話型について意識しながら取組を進めています。

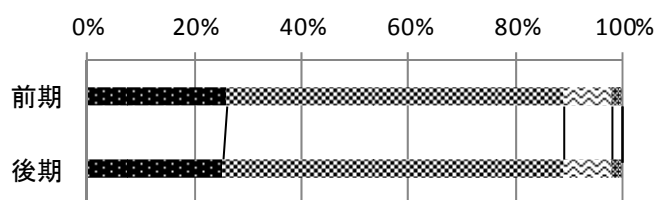
教材研究や指導法の工夫を図り、確かな学力の定着を図っていきます。

- ・ 今年度から図書ボランティアの保護者・地域の皆さんに月1回の読書週間で、始業前に各学年に読み聞かせをしていただいています。子どもたちは、読み聞かせをとっても楽しみにしています。また、図書館の貸し出しも手伝っていただき、読書活動を支えていただきました。ありがとうございました。

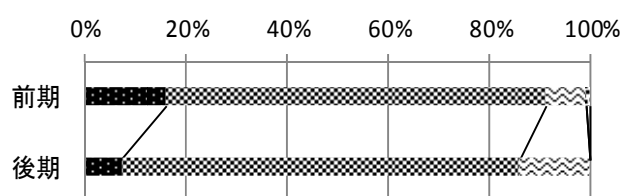
- 担任の先生には、いつも根気強く子どもたちにつき合っていていただき、ありがとうございます。他の教職員方や地域の方にも、いつも見守っていただきありがとうございます。
- いつもありがとうございます。ていねいに勉強を見ていただいていると感じています。
- 月に1度とか地域の方との交流を開き、教室などを利用するなど、その他毎月続けている行事によって個々の意欲の向上などを、目的にするなどしてはどうか。
- 授業参観では日頃から楽しく前向きな授業をしてくださっているのが伝わります。先生の心配りには感謝しております。総合的な学習やわくわく学習で、子どもたちに様々な体験をする機会を設けていただき、ありがとうございます。

## ◇ 豊かな心

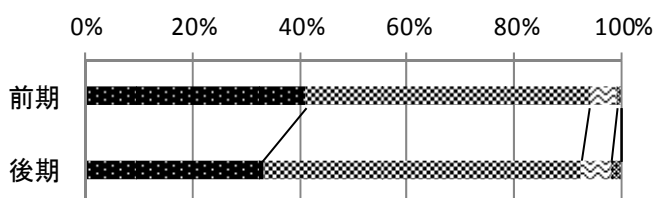
(7) 友だちとの活動・相談(保護者)



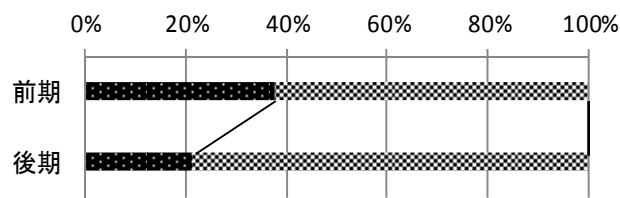
(7) 友だちとの活動・相談(教職員)



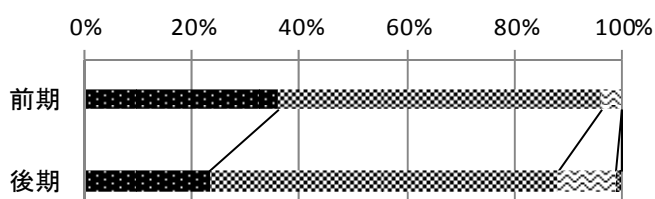
(8) 楽しく学校生活(保護者)



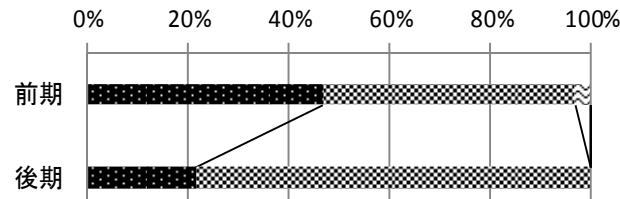
(8) 楽しく学校生活(教職員)



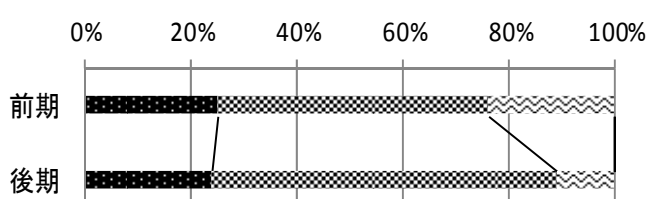
(9) 子どもたち一人一人を大切にする教育(保護者)



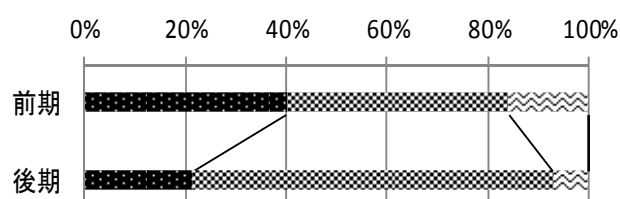
(9) 子どもたち一人一人を大切にする教育(教職員)



(10) 規範意識を育てる取組(保護者)



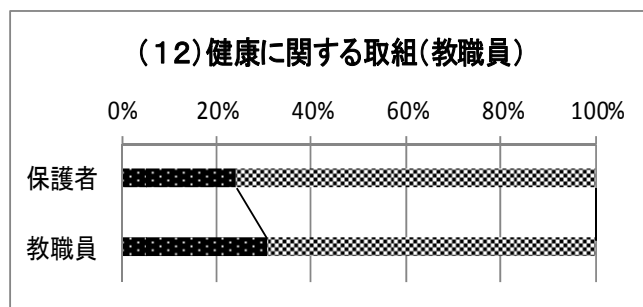
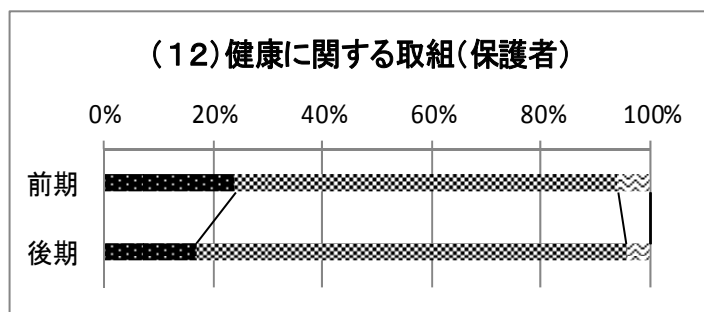
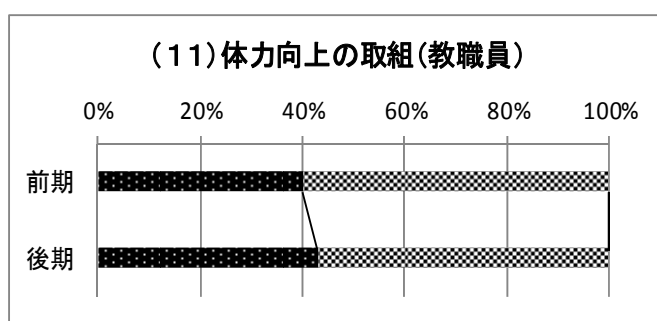
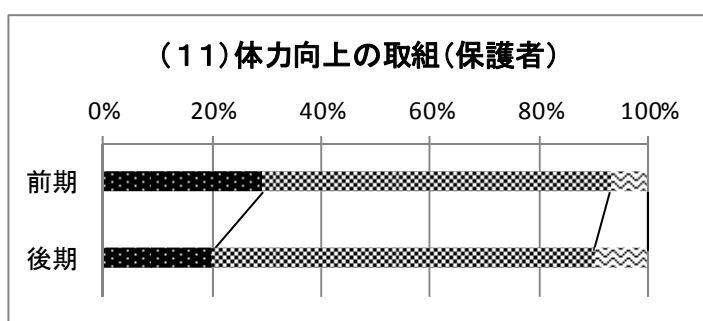
(10) 規範意識を育てる取組(教職員)



- ・（７）「友達との活動・相談」（８）「楽しく学校生活」（９）「子どもたち一人一人を大切にする教育」（１０）「規範意識を育てる取組」の４項目において、保護者評価は約９０％のプラス評価でした。教職員評価では約９０～１００％のプラス評価でした。
- ・（８）（９）項目において、保護者は約１０％のＡ評価の減少、教職員においてもＡ評価が約２０％の減少が見られました。また、（１０）項目においては、保護者は約１０％のプラス評価の増加でしたが、教職員においてはＡ評価が約２０％の減少が見られました。
- ・ 友達の輪に入れない子どもはいないか、友達同士の関係が修復されたか、教職員の子どもに対する声掛けや指導は適切であったかなどを振り返り反省し、教職員が子どもの思いを受け止められている、子どもに寄り添った指導を心がけていきます。また、人権教育のさらなる充実を図っていきます。
- ・ 今年度の重点目標として、「あいさつをしよう」「きまりをまもろう」の２点を定め、規範意識の育成に取り組んできました。「大きな声であいさつをしよう」と児童会で朝のあいさつ運動を取り組んだり、繰り返し学級指導をしたりしていますが、なかなか定着しません。継続してあいさつの励行を呼びかけていきますので、ご家庭内におきましても、あいさつを交わしていただくなど、あいさつが習慣化するように意識付けをお願いします。
- ・ 文部科学省は、小・中などの「道徳の時間」を教科化し、「特別の教科 道徳」と位置付ける学習指導要領の一部改定を公表しました。今回の改定では、道徳教育を「いじめの防止」につなげる趣旨を明示し、「読み物道徳」から子ども自ら「考える道徳」「議論する道徳」への転換を意図しています。社会や価値観の多様化、子どもの実態などを踏まえて、教材の選択、授業改善を行っていきます。

- 日直の仕事や学活などで個人の特徴を活かした学級づくりをしていただいていて、毎日楽しく通学しています。
- 人数が少ない分、先生と子どもも深くかかわれたり、地域とのつながりも深かったり、良い部分が多いと思います。
- まだまだいろいろとあるようですが、毎日学校には楽しく登校できているので安心しています。
- ４月より高学年になり、弟も入学しますので、いま一度、自分の苦手なことをしっかり考えて、周りの様子や友達のことにも配慮できる人になってほしいと思います。
- あいさつがきちんとできている子どもは少ないので、あいさつがしっかりできるようになってほしいです。
- あいさつができない子が目立っていますので、あいさつ運動に日頃から力を入れてほしいです。
- もっと「道徳」の時間を増やすようにしてほしい。
- 心と体の成長が著しい時期、自分で考えることの大切さを指導していただいていると思っています。

## ◇ 健やかな体

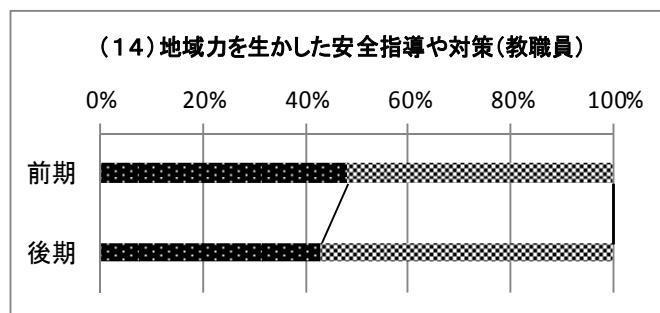
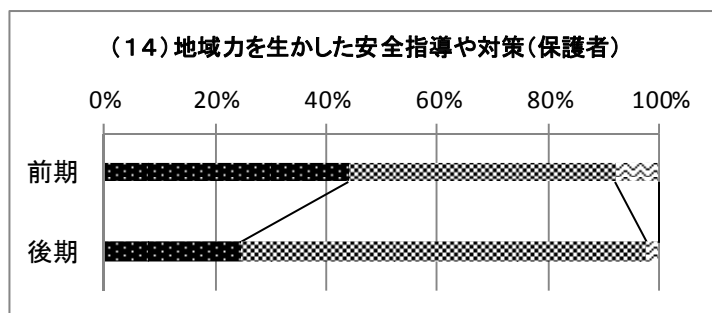
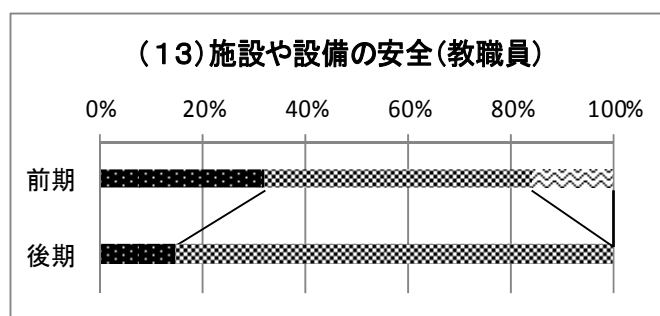
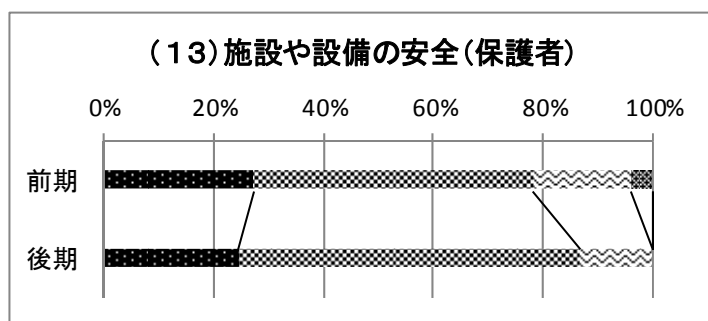


- ・（１１）「体力向上の取組」（１２）「健康に関する取組」の２項目において、保護者評価は約９０～９５％のプラ

ス評価、教職員評価は（１１）（１２）共に１００％のプラス評価でした。（１１）（１２）項目の保護者評価のＡ評価が約１０％減少しています。本校の研究を「健康教育」とし、体育領域に加え保健領域にも研究を広げ、「子ども自ら健康について考え実践する」「生涯にわたって自分の健康の保持増進に取り組む」ことを目指して取組を進めています。来年度も、子どもが自ら健康を意識する取組を継続して行っています。

- ・ 日常における健康への取組は、ご家庭のご協力も不可欠です。就寝・起床時刻、睡眠時間、歯みがき、排便など規則正しい生活リズムを整えることが健康づくりに繋がりますので、子どもへの声掛けやご協力をお願いいたします。
- ・ 今年度、部活動を見直し、運動系部活動はバレーボール・卓球・ゲートボール、文科系部活動は伝統文化・音楽バンドとしました。子どもたちが自分の興味がある部活動に取り組み、技能を伸ばしたり、協力し合ったりしながら、友だちと活動を楽しんでいます。記録会や交流会、発表会などで練習の成果を発揮しています。また、部活動の指導には、保護者や地域ボランティアの皆さんが関わっていただき、たいへん助かっています。

## ◇ 安全・教育環境



- ・ (13)「施設や設備の安全」(14)「地域力を生かした安全指導や対策」の2項目において、保護者は約90～95%、教職員は100%のプラス評価であり前期よりもプラス評価となっています。しかし、(14)項目において、保護者のＡ評価が約20%減少しています。
- ・ ＰＴＡからの校区の安全に関するアンケートでは、大宮通りや大宮花屋町・五条大宮の交差点などの危険箇所が指摘されており、今後、学校・ＰＴＡ・地域が連携して安全対策について改善策を練っていききたいと思います。
- ・ 大宮五条と花屋町の交差点で、ＰＴＡの皆さんが輪番で立っていただいたり、郁文校区の交通安全対策協議会の方が立っていただいたりして、朝の登校時の安全確保をしていただいています。ありがとうございます。
- ・ 学校におきましても、日頃から交通安全指導を行っていますが、交通安全教室や自転車教室、交通安全感謝式、安全の日における交通安全指導などで、子どもたちに安全指導を継続的に行っています。
- ・ 放課後・下校時の見守り活動では、地域やＰＴＡの皆様に、子どもたちの安全を見守っていただき、ありがとうございます。近年、地域の放課後見守り隊の登録者数が減少し、登録者に負担増となってきていますので、登録者を募る方向で地域と調整していきます。
- ・ トイレの改修につきましては、新たに3階の男子トイレ1か所を洋式トイレに改修しました。
- ・ 通用門の鉄板の溝蓋に穴をあけ、雨水の排水を良くしたので以前より水が溜まりにくくなりました。
- ・ 今年度、「緊急地震速報発報端末」が設置されました。地震の強い“揺れ”が到着する前に、到着時刻と震度を予測して可能な限り早く通知する地震動の予報・警報システムです。月に1回、火災、地震、不審者などいろいろな場合や時間を設定して避難訓練を行っています。避難時の教職員の動きを確認するとともに、子どもには避難

訓練について振り返ることもしています。

- ・ 雨の日の放課後は図書コーナーで過ごすことになっていましたが、狭いスペースに多くの子どもたちが遊んだり、廊下を走ったりする状況が見られ、今年度から安全上雨の日の放課後は下校する（部活動を除き）こととしました。授業研究会や教職員の学校外への全員研修の日につきましても、安全確保の観点から完全下校としています。

- 床掃除をもう少しの方が良いと思います。人数が少ないのでモップなどを活用するなど。うわぐつやくつしたが真っ黒になる床は、あまり良くない。なかよしロングタイムもよいと思いますが、水曜日も掃除をしたらどうでしょうか。
- 学校内、門の前、いつもきれいで気持ちいいです。
- 地震の時、私はのんびりテレビを見たままでしたが、娘たちは揺れた瞬間テーブルの下にもぐりこもうとしていました。学校で学んだこと「自分の身は自分で守る」がきちんと身に付いていました。
- 教職員方、PTAの方、いつも見守っていただき、ありがとうございます。
- 子どもを安全に守る対策など地域といっしょに取り組み、安心して登校させることができることに感謝しています。
- 前の安全についてのアンケートにもありましたが、大宮花屋町の交差点の大宮通北行き側に右折専用の信号をつけていただきたく運動をしてほしいです。中学生になっても通りますので、淳風、下中連携で署名運動などをしていただけるとありがたいです。お手伝いしますよ。
- 放課後の外遊びの事です、雨の日には、遊び場所が無いみたいで、さみしそうに早く帰ってきます。学区内に公園が無いという特殊な環境を考慮に入れていただき、もう少し遊べる環境を提供していただきたいと思います。

#### ◇ その他

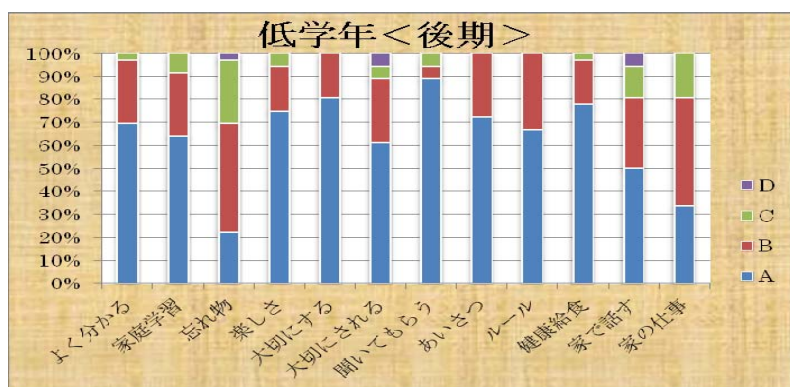
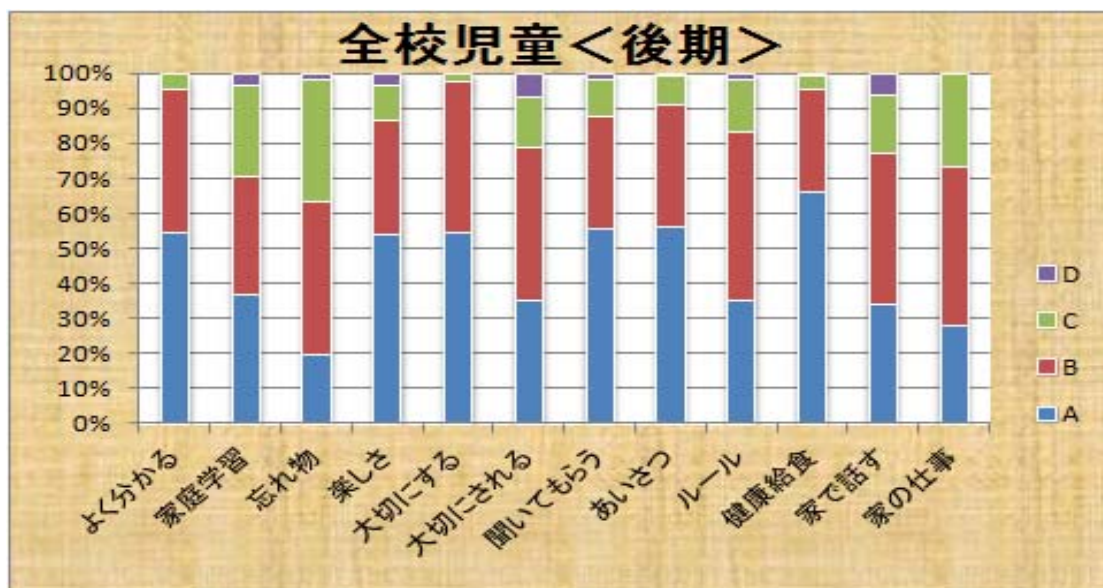
- ・ 参観授業は、いろいろな授業形態を取っていますので、保護者が授業に参加する、あるいは自主的に参加される場合もあることをご理解ください。参観授業に保護者が参観に来られない場合のことも考慮した授業を行っています。
- ・ 学校統合の進捗状況については、統合推進委員会から発行される「T o g o o o」や学校からのお知らせで発信していきます。平成29年4月の統合に向けて、教育構想や学校行事、教育活動などを協議したり、学年間の学習を交流したりしていきます。

- 参観日にはなかなか行けないので、親子参加型はあまりやってほしくはありません。
- みんなで助け合い、できないことは協力してやりとげるのはすばらしいことです。近年、競争よりも「みんなで」という方向にあります。（淳風小だけではない）  
この場合、集団の能力が低下した場合、どうしても本来伸びるべき力がないと伸びないと思います。小規模校のメリットが良い意味で働いている時はよいのですが、なかなか難しいなと思います。早期統合を願っています。
- 子どもたちが淳風小で10年間、大変お世話になりました。我が子たちはそれぞれ性格が違いますが、友達と関わることが好きな子は、毎日のように学校に残って遊び、一人で過ごすことが好きな子はマイペースに小学校生活を過ごしていました。淳風小が自分らしく安心して過ごすことができる環境であったことを本当に嬉しく思っています。今までご指導いただき、ありがとうございました。

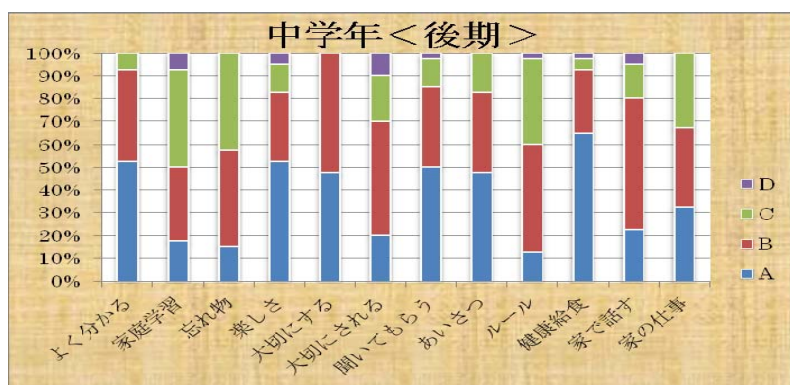
#### 【学校運営協議会での意見交換の概要】

- 大宮花屋町交差点について、PTAから警察へ矢印信号の設置ができないか問い合わせた。生活道路になっている関係で矢印信号の設置は難しい。全ての信号を一定時間赤にすることも、大宮通りの交通渋滞を引き起こすので、地域からも要望したが実現していない。
- 文化伝統部の茶道では、子どもたちが熱心に練習し、盆路点前ができるようになってきた。道で出会ったら、子どもが「お茶の先生」と声をかけてくれる。
- 見守り活動の見守り隊ボランティア募集については、地域住民の高齢化、PTA会員の就労率の上昇などで対策が難しい。淳風安全対策協議会の組織を立ち上げて、そこからボランティアを募集してはどうか。
- 統合問題については、11月の協議から教育委員会が調整中であり、今後統合推進委員会を中心に協議を行っていく。

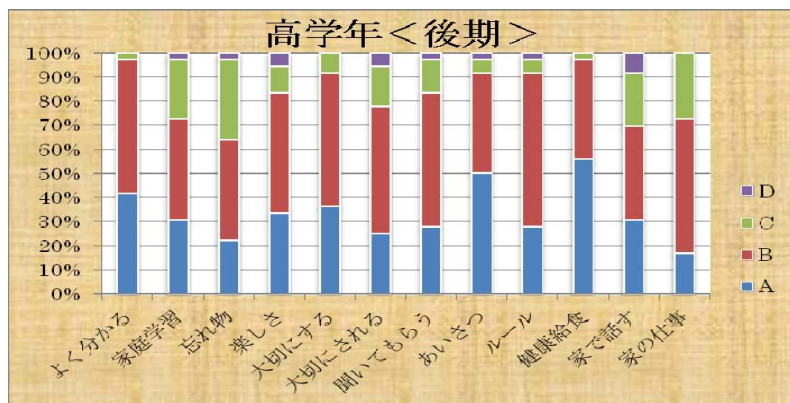
○ 平成26年度 後期 児童アンケート（112名）結果



低学年  
＜36名＞



中学年  
＜40名＞



高学年  
＜36名＞



児童に対しては、昨年度・今年度前期と同じ12の質問項目に対して、4段階の選択肢で回答する形でアンケートを実施しました。

どの項目においても、おおむねプラス評価の回答が多く見られます。数字の上では、多くの児童が良好な学校生活・家庭生活を送っていると言えます。また、当然のことかと思われませんが、低学年ほど各項目における数値がよい傾向があります。これらのことは、昨年も同じ様子です。この状態の気持ちを大切に、さらに伸ばしていけるように学校のいろいろな取組を進めていきます。

それぞれを前期の結果と比べてみると、次のようなことが見られます。

低学年においては、忘れ物に関するA回答が「15人⇒8人」と減少しています。学校生活がスタートした時期に比べて、児童の自主性に委ねられるようになったのではないかと感じます。ただ、学習に必要なものが用意できていないと学習の進捗にも影響をきたすこともあるので、完全に任せっきりにならないで陰ながらそっと見守っていただきながら、自主性を高めていければと願います。また、家での仕事に関するD回答が「3⇒0」となっていることは、忘れ物の数値に関わりがあるかもしれません。一人一人が家庭での役割を持ち責任をもって果たしていく姿は大切です。そのことによって自己有用感が高まっていくものと思います。

中学年においては、大切にすると回答が「28人⇒19人」、大切にされていると回答が「11人⇒8人」と減少しています。中学年はギャングエイジと称されるように、集団の中で他者とつながりぶつかり合いながら成長を続けていきます。そのような状況が数値に現れているのではないかと思います。一つ一つの課題を克服していくことで大きく成長していくことを期待しています。その中で大切なのは、家族の支えです。家で話すA回答が「19人⇒9人」となっていることが気になります。ゆっくりと我が子と向き合う場を大切にしていけるよう工夫していただくことをお願いします。

高学年においては、学習がわかるA回答が「20人⇒15人」と減少しています。高学年になるにつれて学習内容が多岐にわたり求められるものが高度になってきます。低学年・中学年で学習内容が基礎になっていることは当然ですが、それに加えて家庭学習の習慣化や自ら学ぶ姿勢作りが大切です。与えられたことをこなすだけに終わらず、＋アルファの付加価値を意識できるように、学校・家庭の両方で工夫していくことができればと思います。

長年の課題とされているあいさつについては、周りで感じられる状況とは違い、児童の回答は低くはなっていません。しかし、高学年になるにつれて、恥ずかしさからなのか、はっきりと声に出せていないようなので、全員があいさつするという習慣にしていけることが引き続き大切かと思っています。児童会での生活目標にも取り入れ、児童のがんばり目標としていきます。さらに、朝の登校時における校門指導に多くの教職員が関わっていくことで、児童が気持ちの良い挨拶で学校生活がスタートできるように支えていくことを目指していきたいと思います。